

団体競技「徒手」規則（愛知県特別ルール）

【総則】 原則として、2017-2020年（財）日本体操協会新体操競技規則を採用する。
但し、以下に列挙するものについては変更する。

【難度の数とレベル】 団体演技には以下の難度が含まれなければならない。

身体要素	難度の種類と数	追加の難度
ジャンプ	1種類（左・右）＝2個	3個まで （身体要素から 自由に選択する）
バランス	1種類（左・右）＝2個	
ローテーション	1種類（左・右）＝2個	

注意・・・左・右と記しているものは、左右同じ難度を行わなければならない。

（例・右とは、ジャンプの前足が右、バランスの動足が右、ピボットの動足が右）

難度がひとつ不足するごとに0.3点の減点となる。

また、9個を超える難度がある場合も、0.3点の減点となる。

（但し、5名全員で実施されていないものは、難度とはみなさない）

【その他】 全員に係わる動き及び共同作業（選手間の連係）を最低4要素入れる。
ダンスステップコンビネーションを2つ入れる。

【点数の配分】

得点		
(D) 難度	(E) 実施	
難度最高9個の加算点 (10.00点)	10.00点	
(例) 全て価値0.2の価値を行った 場合 0.2×9個＝1.8 ダンスステップコンビネー ション 0.3 選手間の連係 0.1	芸術的欠点 ・特徴 ・リズム ・ダイナミックな変化 ・身体の表現 ・フォーメーション ・連係 ・共同作業 ・方向と移動	技術的欠点 身体の動き ・基礎技術 ・ジャンプ ・バランス ・ローテーション ・プレアクロバット

【演技時間について】 団体の演技時間は、2分15秒～2分30秒とする。

【演技面について】 演技面は13m×13mとする。

◆構成の減点表

減点		0.3 点
難度の数	最低 6 個	<ul style="list-style-type: none"> ・左右の要求されているものに対し、どちらの側がない : 足りない難度×-0.3 ・各身体グループが 2 難度より少ない ・9 個を超える難度、禁止の難度の使用
ダンスステップコンビネーション	最低 2 個	2 個より少ない
連係	最低 4 個	最低 4 個が不足

◆実施の減点表

芸術的欠点

減点	0.1 点	0.2 点	0.3 点	0.5 点あるいはそれより多い
			演技の開始時に 1 名の選手が 4 秒を超えてリフティングされている	
特徴	特徴やアイデアが小さなミスを通して、少々不明確で調和に欠く		特徴やアイデアは表現できているが、構成全体において未発達である	演技がその特徴やアイデアの明確性に欠ける
リズム	単独な中断 そのつど、最高 1.00 まで。 同時性の各欠如 そのつど、最高 1.00 まで			演技終了時に音楽と動きのハーモニーがない 演技全体がリズムと合っていない(バックグラウンドミュージック) 1.00
ダイナミックな変化	選手間において動きの強弱の同時性に欠ける	選手の動きがダイナミックな変化に合わないまたは音楽自体がダイナミックな変化のない単調な音楽である		
身体の表現		全ての選手による身体の美しさの表現に欠ける(美しさ、優雅さ、)そして強弱)		
フォーメーション	技術ミスの際に起こるフォーメーションの変化	大きさの間のバランスに欠ける 1 つの形の乱用	6 個より少ないフォーメーション(1 度)	

関係		同じ種類による関係において多様性に欠ける (4個を超えて同じ種類の関係がある、または各関係において同じ組織様式である)	関係における禁止要素	
共同作業		共同作業の種類が1つ またはそれ以上欠けている		
方向と移動	方向と移動の使用の 多様性が不十分である			

技術的欠点

減点	0.1点	0.3点	0.5点
総則および基礎技術	不完全な動きまたはジャンプ、 バランス、ローテーションに おいて形の大きさに欠ける		
	演技面でポジションを整える		
	動作中の身体の1部位の不正 確な保持(そのつど、最高1.00 まで)		
	バランスを失う：移動なしで 余分な動きを入れる (各選手)	バランスを失う：移動して余 分な動きを入れる (各選手)	バランスを失い、片手または両手 で支える：0.50 (各選手) バランスを失い完全に転ぶ：0.70 (選手ごとに)
		選手の静止(そのつど、選手 数に関係なく)	
ジャンプ	重い着地 不正確な着地		
バランス	形が固定されず保持されてい ない		
ローテーション	形が固定されず保持されてい ない		
	ルールで回転の実施中に回転 の一部で踵をつく ホップ(複数) 回転中の移動(スライド)	身体の軸が垂直でなく終了時 に1歩動く	
プレアクロバット 要素	着地が重い 許可されていない技術		